

報道機関各位

北九州市のものづくり企業とロボットヒーロー物語がコラボレーション

リアルブルバスター開発プロジェクト

ロボット開発スタート

&ドキュメンタリー公開・KPF※出展のお知らせ



※KPF(北九州ポップカルチャーフェスティバル)11/30、12/1 開催

日本のロボティクス・製造業を盛り上げることを目的とし、北九州市の企業・岡野バルブ製造株式会社、「ブルバスター」企画原作を手掛ける株式会社ピクス、北九州市、地元教育機関が、ロボット『ブルバスター』のように社会課題を解決するためのロボットを開発する産官学共同プロジェクト「リアルブルバスター開発プロジェクト」。本年3月から応募を開始したリアルブルバスターの開発者を募る若手技術者オーディション「未来の沖野を探せ！開発者オーディション」の合格者が決定し、ロボット開発がスタートしたことをお知らせします。

「ものづくり」で日本の未来を立ち向かえ、ブルバスター！

未来の沖野を探せ！

リアルブルバスター開発プロジェクト

REAL BULLBUSTER DEVELOPMENT PROJECTS

MISSION!

「社会課題を解決するロボット」のことで、このロボットじゃないといけないといった制約はありません。日本の多くの業種は人手不足になり、危険な作業や大変な作業をロボットが行う未来になることが想定されています。そういった未来を現実させるために応募者の方が作りたいロボットを一緒に開発したいと考えています。

※制作途中でリアルブルバスターを他の名で呼ぶことはできません。

WHAT IS A "REAL BULLBUSTER"?

「社会課題を解決するロボット」のことで、このロボットじゃないといけないといった制約はありません。日本の多くの業種は人手不足になり、危険な作業や大変な作業をロボットが行う未来になることが想定されています。そういった未来を現実させるために応募者の方が作りたいロボットを一緒に開発したいと考えています。

※制作途中でリアルブルバスターを他の名で呼ぶことはできません。

PROCESS

プロセス

① 応募受付 → ② オープンアクション → ③ インタービュー → ④ 最終面接 → ⑤ 合格発表

QUALIFICATION

応募資格

- 日本に在住する2024年3月31日時点で16歳以上30歳未満の方
- 高校卒業以上、大学卒業以上、職業訓練修了者、専門学校卒業、短期大学卒業、2024年卒業予定の学生等。外国人は在留資格「特別永住者」を有する方が対象です。職業訓練修了者として職業訓練修了者として認定されている方、海外に在住する方、海外に在住する方は応募できません。
- 性別：男性、国籍：国籍は問いません。
- 学生でも社会人でも十分な経験のある方でも歓迎!
- ロボットで実現したい社会課題が明確にある方
- リアルブルバスタープロジェクトにてメディアの企画、オンラインメディア（ホームページ、YouTube、SNSなど）の発信が可能な方

SCHEDULE

審査スケジュール

- 1次審査：課題提出
- 2次審査：オンラインでの面接
- 最終審査：対面面接

ENTRY FORM

ご応募はこちらから >>>

受付期間 2024/3/29日 ~ 6/30日

リアルブルバスター開発プロジェクト MAIL: info@realbullbuster.com
企画開発元: 岡野バルブ製造株式会社 ADDRESS: 〒816-0284 北九州市門司区千早 1-34 MAIL: kouhaku@okano-yokoh.com

1 リアルブルバスター開発プロジェクト始動

▶「未来の沖野を探せ！開発者オーディション」合格者決定

令和6年3月29日から8月20日にかけて実施した「未来の沖野を探せ！開発者オーディション」。全国の若いロボット開発者から多くの革新的なアイデアと情熱をいただきました。書類審査、オンライン面接、対面プレゼンを経て、九州工業大学大学院に通う、飯田康生さんが選ばれました。

飯田さんはご自身のお祖母様がパーキンソン病を患っていたことをきっかけに福祉ロボットの研究を始めました。工学の力で患者とその家族のQOL(生活の質)の向上を目指し日夜研究に取り組んでいます。



【合格者】

飯田康生(いいた こうき)

九州工業大学大学院・修士1年生

【開発予定ロボット】

パーキンソン病をはじめとする運動機能障害を持つ方々の自立をサポートするロボット

【本人のコメント】

私は、パーキンソン病を患う祖母と暮らす中で、その歩行の不安定さや体の方向転換の困難さ、そして自分の足で立つことすら難しくなる様子を目の当たりにしてきました。パーキンソン病は難治性の疾患であり、多くの患者さんが同様の悩みを抱えています。高齢化社会が進む中、こうした方々を支えることは、社会全体にとって重要な課題です。

このプロジェクトに応募したのは、祖母をはじめ、多くの患者さんのQOL(生活の質)を向上させたいという強い思いからです。パーキンソン病の進行を遅らせることはもちろん、日常生活における不便さを解消し、少しでも快適に過ごせるようなロボットを開発したいと考えています。

今回、多くの志望者の中から選んでいただき、大変光栄に思います。他の志望者の皆さんも、それぞれ熱い思いを持ってこのプロジェクトに参加されたことと思います。その期待に応え、そして、パーキンソン病をはじめとした基本的な日常生活動作に悩む全ての人々のために、人々の生活をより豊かにする、革新的なロボットの開発にチャレンジしたいと考えています。

2 ロボット開発ドキュメンタリー公開

▶ドキュメンタリー公開

名称:ロボットで日本の介護問題に立ち向かえ”介護<自立>”と”現実<コスト>”

-若きエンジニアが挑む ロボット開発ドキュメンタリー-

飯田康生さんがロボットを開発していく様子をドキュメンタリーとして公開します。

【内容】

介護業界の人手不足が深刻化する中、高齢化社会における「介護」は、単に身体的な支援をするだけでなく、誰もが自分らしく自立して生きるためのサポートという側面がますます重要になっています。

このような状況で、パーキンソン病のおばあちゃんの生活を支えたいという強い思いから、介護ロボットの開発に挑む大学院生の姿を追います。彼は試行錯誤を繰り返し、時には壁にぶつかりながらも、テクノロジーの可能性を信じて前に進みます。このドキュメンタリーでは彼の成長を通して、介護ロボットがどのように人の自立した生活をサポートし、高齢化社会における人々の生活の質の向上に貢献できるのか探求していきます。

また、介護問題やものづくりに関心の高い著名人や、テクノロジー分野の専門家へのインタビューを通じて、現代社会が抱える課題や、今後の展望についても深く掘り下げていきます。

▶配信先:公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCemBMcLK6KvAu72Ra3HqpVg>

3 「北九州市×リアルブルバスター開発プロジェクト」KPF 出展

11月30日、12月1日に開催される北九州ポップカルチャーフェスティバルで「北九州市×リアルブルバスター開発プロジェクト」ブースを出展します。ブース限定のノベルティ配布や聖地巡礼マップの配布、限定映像の公開などを行います。

▶日時:令和6年11月30日(土)、12月1日(日) 10:00~17:00

▶場所:西日本総合展示場新館

アニメ『ブルバスター』について

「ブルバスター」は映像監督・中尾浩之と漫画家・窪之内英策のタッグに気鋭クリエイターが結集し生まれた 経済的に正しいロボットヒーロー“プロジェクト。コンセプトブックの自主出版から始まり、小説として出版。現在各種配信サービスにてアニメ配信中、ほか、コミックフラッパーにて連載中。

物語の舞台である北九州市ともコラボレーションし、様々な展開を行っている。

STORY:

若き技術者・沖野鉄郎は、自ら開発した新型ロボット・ブルバスターを携え、害獣駆除会社の波止工業に出向。田島が社長を務める波止が対峙しているのは“巨獣”と名付けられた謎の生物だった！さらに万年金欠の零細企業とあって、波止には常に経済的な問題がつきまとう……。ロボットの燃料費、パイロットの人件費、もちろん弾一発の無駄さえ許されない。

巨獣を退治するという「理想」と、コストという「現実」の狭間で、波止に未来は訪れるのか！？

各種配信サイトにて見放題配信中！

コミック 第1巻発売中 / コミックフラッパーにて連載中

公式サイト:<https://lit.link/en/animebullbuster>

©P.I.C.S.・KADOKAWA刊／波止工業動画制作部



【お問い合わせ先】

岡野バルブ製造株式会社 経営企画室

kouhou@okano-valve.co.jp 電話:093-330-3004

都市ブランド創造局 MICE・エンターテインメント課

担当:秋吉(課長)、片山(係長) 電話:093-551-8152